

# Weekly report

MINKABU  
THE INFONOID

株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド  
東京都千代田区神田神保町3-29-1

## 今週の注目材料 = 米景気鈍化傾向が鮮明になるか

2021年10月25日

28日木曜日に米国の第3四半期GDPが発表されます。第1四半期が前期比年率+6.3%、第2四半期が+6.7%と高水準での景気回復を続けてきた米国ですが、第3四半期は成長が鈍ると見込まれています。

事前予想は前期比年率+3.2%前後となっています。7月以降デルタ変異株による新型コロナの感染拡大が米国で広がり、消費などに影響が出ていたことや、サプライチェーン問題での原材料不足からの供給制約が広がったことが背景にあるとみられます。

米国では今年初めに25万人を超えていた新型コロナの一日当たり新規感染者数(7日間平均・この後も)が、6月には1万1千人台まで低下。収束への期待が強まっていました。しかし、7月後半以降デルタ変異株による感染拡大が強まり、9月半ばに17万人を超える新規感染者が出るなど、厳しい状況となっています。

重病者数などが一時に比べ抑えられており、行動制限も緩和されていますが、消費行動などを通じた経済の影響が懸念されるところとなっています。7月に非農業部門雇用者数が前月比100万人を超える増加となるなど、順調な回復を見せていた米国の雇用市場が、8月、9月と冴えない結果となった背景にも、こうした新型コロナの感染拡大があるとみられています。

サプライチェーン問題も深刻です。世界的な半導体不足を主要因とした供給制約が第3四半期に入って強まっています。今月18日に発表された9月の米鉱工業生産指数は前月比1.3%の低下。8月の数字も0.1%の低下に下方修正(速報時点では+0.4%)されており、2か月連続での低下です。また、内訳のうち製造業生産指数は半導体不足問題が直撃した自動車生産が7.2%という大きな落ち込みを見せたこともあって0.7%の低下。こちらも8月が速報時の+0.2%から0.4%の低下に下方修正されており、二か月連続での低下となりました。

稼働率を見ますと、9月は製造業が75.9%、全体では75.2%とともに8月から低下。現行基準での統計開始である1972年から2020年までの平均を4.4%ポイントも下回っており、厳しい状況が見られます。

また、天候による特殊要因も第3四半期GDPに影響を与える可能性があります。9月に米南部を襲ったハリケーン「アイダ」の影響が懸念されています。

第3四半期の景気鈍化が数字でしっかりと示される中で、物価上昇の流れが止まらないという状況は、米経済にとってかなり厳しい印象を与えます。予想を超える低下となった場合は、ドル売りの動きに要注意です。

米国以外では同じ28日のECB理事会が注目されています。

金融政策自体は現状維持が見込まれています。注目は声明や理事会後のラガルド総裁会見で示される今後に向けた姿勢。市場は来年3月で終了するPEPP(パンデミック緊急購入プログラム)の後にに向けた動きのヒントを出してくるのではと期待されています。

現時点ではPEPP終了後は、通常の資産購入プログラム(APP)の規模拡大や柔軟性拡大によって景気支援を続ける姿勢を示すのではと期待されています。

ただ、世界的に物価上昇が進み、金融引き締めに向けた動きが強まる中、APPの拡大には慎重姿勢も見られます。ラガルド総裁がどのような姿勢を示すのかが注目されることです。

なお、ECBの中でもタカ派(インフレファイターの姿勢が強く、金融引き締めに積極的な姿勢)の筆頭格であるドイツ連銀のバイトマン総裁が今週、年内での退任を公表しました。

後任人事は未定で、現在連立交渉が行われている新政権樹立後に指名されることになります。

新政権に向けた動きは、先月の総選挙で第1党となった社会民主党(SPD)を中心とした、緑の党、自由民主党(FDP)の三党連立交渉が一步リードしており、先週三党による政策合意書が公表されました。

従来よりも左派寄りの新政権が樹立する可能性が高まる中、より緩和的な姿勢を持つ総裁が指名される可能性があり、今後のECBの政策運営にも影響が出ると思われます。

ラガルド総裁にとっては自身のハト派的な姿勢が強化される流れに。この辺りも計算に入れた総裁の会見に要注目です。

#### 山岡和雅 | minkabu PRESS編集部

1992年チェースマンハッタン銀行入行。1994年ロイヤルバンクオブスコットランド銀行(旧ナショナルウェストミンスター銀行)移籍。10年以上インターバンクディーラーとして活躍した後にGCIグループに参画。2016年3月よりみんかぶ(現ミンカブ・ジ・インフォノイド)グループに入り、現在、minkabu PRESS編集部外国為替情報担当編集長。(社)日本証券アナリスト協会検定会員 主な著書に「初めての人のFX 基礎知識&儲けのルール」すばる舎、「夜17分で、毎日1万円儲けるFX」明日香出版社など

---

#### <免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については万全を期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

#### <著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。